

# 会報

秋

No.183

2018.10

一般社団法人北海道電業協会



道有施設の整備における建築局の取り組み

北海道建設部建築局長 椿 谷 敏 雄…………… 1

平成30年度 安全大会 …………… 2

平成30年度 札幌市電気設備施工研修会 …………… 3

技術系学校の先生との意見交換会…………… 4

技術系学校生徒との施設見学会…………… 5

ーシリーズー 1 / 212だより

人が集い 賑わいと 笑顔が広がり 未来につながるまちを目指して ～新得町～

新得町長 浜 田 正 利… 6～7

青空、緑、地平線。他に何もない贅沢 ～新篠津村～

新篠津村長 石 塚 隆… 8～9

ーシリーズー 「私のいちおし」

(株)関電工 北海道支店長 太刀川 雅 弘……………10

安全衛生パトロール実施報告……………11

電気設備見学会……………12

厚生委員会行事報告

ゴルフ部会……………13

野球部会 (ソフトボール) ……………14～15

ボウリング部会……………16～17

理事会、委員会報告……………18～19

事務局日誌……………20

編集後記



# 道有施設の整備における 建築局の取り組み

北海道建設部建築局長 椿 谷 敏 雄

はじめに、このたびの胆振東部地震により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます。

さて、(社)北海道電業協会の皆様には長きにわたり、北海道の営繕行政の推進にご理解とご協力を頂き、厚くお礼申し上げます。

現在、道の建築局においては、札幌医科大学の教育研究施設や大学管理施設をはじめ、名寄警察署庁舎の改築や江別市にある道立図書館敷地内への北海道立文書館の改築といった大規模な施設の改築を行っています。その他、高等学校等の改修や災害対策の中核的な役割を担うための空知合同庁舎の非常用電源設備の設置といった機能強化のための改修工事など様々な工事も手がけています。

さらに、今後益々道有建築物の老朽化が進むことから、長寿命化に向けたストックマネジメントの強化も必要となります。このため、修繕業務の集約化を進め、業務の効率を図るなど、予防保全型による長寿命化の推進に努めていくこととしています。

さて、今年には本道が「北海道」と命名されてから150年の節目を迎えます。歴史・文化といった先人から受け継いできた貴重な財産を次の世代に継承し、持続的な発展が求められる年でもあります。

建築局におきましても、これまで取り組んできたストックマネジメントをより一層進めることとし、「確かな建築技術とストックマネジメントにより、地域とともに歩み続ける公共建築物を目指して～北海道150年から次世代への継承～」を基本理念に掲げたところです。

この理念により、価値ある道有建築物とともに、確かな技術も次世代に受け継いでいきたいと思っています。

近年、営繕工事における「働き方改革」に向けた取り組みが課題となっています。建築局では、今年度から若手技術者の確保、育成及び建設現場が男女ともに働きやすい環境へと改善することを目的として週休2日を確保したモデル工事や快適トイレの導入を実施することとしております。

貴協会におかれましても、就労者の技術研修はもとより、工業高校や専門学校などの技術系教育機関との連携を通じて、生徒に電気事業についての素晴らしさをPRするほか、インターンシップの実施など将来の電気技術者の確保にも力を注がれており、次世代への継承にご尽力いただいているところです。こうした担い手の育成や技術の継承への取組みにおいては、官民が連携することで、就労者の労働環境の改善や若手技術者の確保の推進が円滑に進みます。このため、今後とも貴協会と協力させていただくことで、道内の建設業界の今後の益々の発展に繋げていけることを期待しております。

また、今年7月の豪雨災害やこのたびの地震災害においては、被災地に建築局職員を派遣し、住宅の被害認定調査や応急危険度判定などの支援を行いました。このような大規模災害では、日頃、貴協会が携わっている電力の確保が必要不可欠であり、貴協会会員による災害緊急対応が非常に重要な活動となります。社会活動のライフラインを担っている貴協会に敬意を表すとともに、今後とも行政の良きパートナーとしてその役割を十分に果たされますことを、この場を借りてお願いいたします。

最後になりますが、貴協会のさらなるご発展と会員皆様のご活躍を心から祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

## 平成30年度 安全大会



6月13日(水)北海道電気会館において、平成30年度安全大会を(一社)札幌電設業協会との共催にて開催しました。

この大会は、7月1日から始まる「全国安全週間」に向けて安全意識を高めることが目的ですが、当日は、両団体会員企業の経営者及び幹部等が176名(141社)参加し、今年度のスローガンである「新たな視点でみつめる職場 創意と工夫で安全管理 惜しまぬ努力で築くゼロ災」に鑑み、安全最優先で対策に取り組んで行くことを決意する場となりました。

開催にあたり、(一社)札幌電設業協会の伏木 淳安全衛生委員長から「安全管理は毎日同じことを繰り返す地道な作業だが、マンネリ化しないよう、現場に携わる多くの人達が良く話し合い、取り組んで欲しい。今日の講話を今後の安全管理にぜひ活かして下さい」との挨拶がありました。

最初に、札幌市都市局建築部電気設備課の高松 静知課長から講話をいただきました。まず、平成29年度の札幌市発注工事における事故の発生状況

を報告され、個別事例について具体的に原因及び再発防止策を説明いただき、「事故を起こすと企業は様々責任を問われる。現場作業は余裕を持って行うことが大事。また、5S運動(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)にも取り組んで下さい」とお話されました。

引き続き、北海道警察本部交通部交通企画課の加藤 貴公課長補佐様より交通安全についての講話をいただきました。自転車条例についての若年世代の認識がまだまだ十分でないこと、道内で依然として飲酒事故が起こっていること等が説明され、また、自動車事故の事例をドライブレコーダー画像を活用しながら紹介いただき、「事故防止に一層取り組んで下さい」との要請がありました。

最後に、当協会の宇野 徹専務理事より「これから夏場を迎え、厳しい労働環境の時期になりますが、更なる安全活動への取り組みを会社を挙げて実践していただきたい」と参加者に呼びかけ、大会を閉会しました。



高松電気設備課長



加藤課長補佐

## 平成30年度 札幌市電気設備施工研修会



平成30年7月18日(水)北海道電気会館において、当協会及び(一社)札幌電設業協会共催による「札幌市電気設備施工研修会」を開催し、現場責任者など141名が参加しました。今回で35回目となるこの研修会は、札幌市から担当者を招き、施工上の留意点や事前に提出していた質問・要望事項について説明を受け、今後の施工技術向上などに役立っています。

はじめに主催者を代表して(一社)札幌電設業協会の加藤 定義副会長から「電気設備工事施工における注意点等学んだ事を現場の施工に役立てて頂きたい。また、工事最盛期を迎えるが良い成績で終わらせて、安全にも十分注意してもらいたい」と呼びかけました。

また、札幌市都市局建築部の高松 静知電気設備課長からは「2018年度の工事発注件数は70件程度を予定している。7月10日現在で約50件を発注しました。今後も学校や団地などの大規模工事を予定している」と挨拶されました。この後、講師の皆さまから電気設備工事に関する留意事項、電気設備工事仕様書改定内容などを説明いただきました。

引き続き会員から事前に寄せられた質問・要望の18項目には、電気設備課と工事監理室が分担して丁寧にご回答いただき、互いの認識共有を図りました。

最後に(一社)札幌電設業協会の橋本 佳明技術委員長から工事施工の留意事項、事故事例、工事仕



ご挨拶 高松電気設備課長

様書の改定内容等について講師の皆様より詳細な解説をいただいた事に対する謝意を表し、閉会挨拶といたしました。

### 【研修内容】

1. 札幌市発注電気設備工事に関する講話
2. 電気設備工事に関する留意事項について
3. 平成30年度電気設備工事仕様書の改定内容について
4. 会員からの質問・要望事項に関する回答

### 【講師】

札幌市都市局建築部電気設備課

課長	高松 静知 様
電気一係長	山田 英晴 様
電気二係長	池田 政幸 様

札幌市財政局工事管理室技術管理課

電気検査担当係長	太田 潔 様
〃	佐藤 公俊 様

## 技術系学校の先生との意見交換会



平成30年8月8日(水)当協会および(一社)日本電設工業協会北海道支部共催による技術系学校との意見交換会を札幌グランドホテルで開催いたしました。

業界と技術系学校相互の現状認識の把握と意見、要望を聞くため毎年行っています。

今回は大学1校、専門学校2校、高校8校から11名が出席し、当協会からは山口副会長をはじめ6名が出席いたしました。

はじめに山口副会長から「本日は生徒さんの思いや先生方の皆さんが当業界をどのように感じているか等、忌憚のないご意見をお聞かせ願いたい」と開会挨拶をいたしました。

当協会から主な事業内容を説明。続いて道内の技術系学校を対象に毎年調査している「平成30年3月卒業生の就職状況」及び「平成30年度技術安全基礎教育講習会」の実施結果を報告。さらに、今年6月に調査した「インターンシップ実施企業調査結果」についての報告と今年度の当協会会員企業の実施計画を説明いたしました。

先生の方から「①生徒数減少により電気科の学級数が減少している。このままでは15年先、ライフラインを担う電気工事の人材がいなくなる ②電気科の人気もなくなっている ③札電協青年部の説明会を聞いた生徒が就職に結びついている ④業界を志望する学生を増やすため中学生、保護者、各級の議員などにライフラインの重要性

などを訴えることが必要 ⑤福利厚生費や休日確保 ⑥現場先輩の指導についていけなくなり、今年入社した子が一年持たないで離職した。今時の若者の接し方等、指導者の育成もお願いしたい ⑦進路決定に影響のある母親に、大手や有名企業指向が強まっている」などの要望・意見が出されました。

これに対して当協会からは「①各先生のご意見から我々は共通の課題を持った仲間であると感じた ②新入社員は宝である。入社後、1級電気工事施工管理の資格取得まで10年間はキャリア形成に会社・本人ともに重要。我慢することも指導願いたい ③学校の先生との情報交換が必要であると感じた ④電気科の現状等を機会あるごとに議員さんたちに訴えていく ⑤働き方改革の法案が成立したので当協会の業界も働き方を考えていかなくてはならない」と理解を求め意見交換会を終了いたしました。

### [参加校]

北見工業大学、札幌科学技術専門学校、日本工学院北海道専門学校、札幌工業高校、札幌琴似工業高校、室蘭工業高校、小樽未来創造高校、函館工業高校、旭川工業高校、北見工業高校、滝川工業高校

## 技術系学校生徒との施設見学会



平成30年7月31日(火)当協会および(一社)日本電設工業協会北海道支部共催による技術系学校生徒との施設見学会を開催しました。

参加した学校は札幌市内の専門学校1校、高校2校から先生3名、生徒14名、合計17名が参加しました。

今回の見学場所は、北海道電力(株)伊達発電所です。(所在地：伊達市長和町163番地1)

伊達発電所には2基のユニットがあり、総出力は70万kW。昭和53年11月に1号機(35万kW)、昭和55年3月に2号機(35万kW)が運転を開始し、重油を燃料とする火力発電所として、室蘭の一大工業地帯をはじめ、西胆振一帯および全道の電力安定供給に寄与しています。

伊達発電所の燃料受入パイプラインは、発電所で使用する燃料油(重油)を室蘭から輸送するもので、その延長は約25kmに及んでいます。

このパイプラインには強じんな鋼鉄製パイプが



採用されており、加えて高性能の監視装置により常にパイプライン全体の厳重な監視を行っています。また各種保安設備を設けており安全性の高い設備となっています。

また、発電所構内には、平成23年6月に伊達ソーラー発電所も設置されています。発電出力1,000kW、年間発生電力量(想定)100万kWh。(一般家庭約300軒分の電気使用量に相当)。

見学に先立ち北海道電力(株)伊達発電所 発電課の勝見副長他2名のご担当の方から概要説明を受けた後、施設内の見学となりました。

学生たちは、実際に見るタービン・発電機、中央操作室、太陽光パネルなどの各設備について、担当者からの詳細な説明を熱心に聞き入っていました。

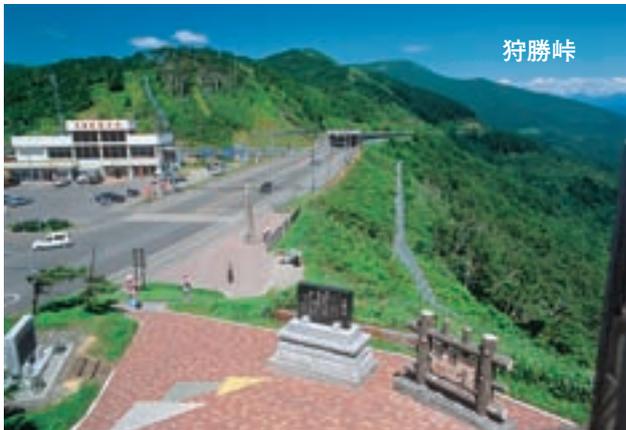


同行した先生からは「学生たちには最先端設備に触れる機会であり、たいへん有意義なので今後も継続してもらいたい」と要望を受けました。



# 人が集い 賑わいと 笑顔が広がり 未来につながるまちを目指して ～新得町～

新得町長 浜田 正 利



## ■町の概要

四季折々に美しい姿を見せる東大雪の山々と日高山脈の山懐に抱かれた、豊かな自然あふれるまち新得町。

新得はアイヌ語で「シットク・ナイ」がなまったもので、山の肩、または端という意味です。また、アイヌの人たちがお酒を造るための漆器を「シントコ」といい、これを作るための土地だったともいわれています。



新得駅

明治32年に山形県からの移住者によって開拓の礎が下されました。明治40年

には狩勝トンネルが開通、鉄道の発達により福島、宮崎、埼玉からの団体などの移住が増加し、新得市街地が形成されました。大正6年に鉄道の機関区、保線区等の施設が設置され、道東と道央を結ぶ鉄道の要衝のほか、西部十勝における農林産物の集積地として発展しました。現在もJRの特急全便が停車し、北海道のほぼ中央・重心地に位置することから、道内各地へのアクセスに優れており、道東の玄関口として交通の要所となっています。

大正4年に人舞外1カ村から屈足村として分村し、大正12年に新得村と改称、昭和8年に町制を施行し、平成25年に町制施行80年、平成31年に開拓120年を迎えます。

基幹産業である農業では、主な農作物として小麦やてん菜、豆類、そばなどが挙げられます。また、酪農と畜産では、飼育頭数が乳牛は約8千600頭、肉牛は約2万6000頭を数えます。

総面積1,064km<sup>2</sup>のうち約90%が森林地帯で、豊かな森林から流れ出る清流を利用した7つの水力発電所を有し、全道への電力の安定供給の役割を担う電源のまちでもあります。

また、誰もが健康で安心して家族で生活できるまちを目指し、聴覚障害者の授産施設や、全国で2番目に建設された聴覚障害者専用の老人ホームなど町内には福祉施設も数多くあるほか、平成26年4月からは、町村では全国初となる「手話に関する基本条例」が施行され、町民主体の手話グループの活動も活発であり、町全体で福祉活動が積極的に



行われています。

平成30年7月末現在の町の人口は6,115人で、世帯数は3,304戸です。

## ■そばのまち



全国的にも品質が高いことで知られる新得のそば。山麓地帯特有の昼夜の寒暖差が大きく冷涼な気候が風味の高いそばを育てます。各そば店では熟練の職人による手打ちそばが味わえるほか、毎年9月の最終日曜日に開催される「新そば祭り」では、町内のプロ・アマのそば打ち名人が一堂に会し、自慢の腕をふるった「採れたて」「挽きたて」「打ちたて」「茹でたて」の香り高い新そばを食べ歩きすることができます。

## ■自然を楽しむ



四季折々の表情を見せる自然豊かな新得では、多彩なアクティビティを楽しむことができます。

夏はカヌーにラフティング、釣り、乗馬のほか日本百名山としても名高いトムラウシ山の登山などが楽しめます。

冬は国内有数のリゾート地サホロでのスキーやスノーボードなどの各種ウィンタースポーツが満喫できます。また、トムラウシ山の東麓に位置

する秘湯トムラウシ温泉では、四季折々の美しい自然を感じながらゆったりとした時間を過ごすことができます。

## ■観光宣隊しんとくレンジャー

新得を強力にPRするゆるキャラ。町内外のイベントなどで活躍しています。

- ・風味豊かな新得のそばを担当する「そばレッド」
- ・雄大な新得の自然、山担当の「山グリーン」
- ・新得の豊富な温泉を担当する「温泉ピンク」

しんとくレンジャーを見かけたときは是非お声掛けください。



## ■ふるさと納税

新得町のふるさと納税では、そばやチーズ、新得地鶏、エゾ鹿肉、干物、焼酎などのまち自慢の特産品のほか、温泉の宿泊券やアウトドアアクティビティの体験チケット、木工品といった様々な返礼品をご用意しています。

皆様からお寄せいただいた寄附金は、新得町の森林や水資源、街並みの美化、子育てや福祉、観光振興、歴史や文化、スポーツの振興などに役立てていきます。ふるさと納税制度をご活用いただき、ぜひ新得町を応援してください。



ラムジンギスカン



チーズセット



新得そばセット

・新得町ホームページ（ふるさと納税のページ）

<http://www.shintoku-town.jp/furusatonouzei/>

・ふるさとチョイス（新得町）

<https://www.furusato-tax.jp/city/product/01635>



## 青空、緑、地平線。他に何も無い贅沢 ～新篠津村～

新篠津村長 石 塚 隆



### ■村の概要

新篠津村は、石狩平野の中央部にあり、北緯43度13分、東経141度38分（役場所在地）に位置し、東西8.7km、南北14.3kmに延び、人口3,163人（平成30年3月現在）、総面積78.04km<sup>2</sup>を有しています。

新篠津村の基幹産業は農業です。安定した気候と立地で、道内でも有数の米どころとして知られています。農業の基幹をなすのは米づくりで、道央圏における食料供給基地としての役割を担っています。農家一戸あたりの水田経営面積は全国でもトップクラスで、水田地帯として高品質の米を市場や食卓に送り出しています。

### ■観光スポット

#### ○道の駅しんしのつ



道道139号線沿いに位置する、日帰り入浴可能な宿泊温泉施設併用の道の駅として、石狩管内唯一であり、人気を集めています。道の駅としての機能を充実させるため、2011（平成23）年度に、駐車場の整備、屋外トイレを設置しました。さらに新篠津村の安心・安全な農産物や加工品、軽食を提供する「しんしのつ産直市場」をオープンし、新篠津村の魅力を発信しています。

道の駅を併設する「しんしのつ温泉たっぷの湯」は、2015（平成27）年12月に内風呂源泉かけ流しの天然温泉としてリニューアルしました。眼前に石狩平野が一望できる露天風呂があり、最大104名収容の宿泊施設や大宴会場、大研修室、レストラン、カラオケルームなどを完備し、のんびりとした時間を満喫することができます。

#### ○わかさぎ釣り



しのつ湖の冬の風物詩として人気の「わかさぎ釣り」があり、毎年2万人以上の観光客で賑わっています。釣り場は北釣り場、南釣り場、たっぷ釣り場の3カ所があり、必要な釣り具は、すべてレンタルでき、ストーブ付き小屋のレンタルがあるので、手ぶらで行って、暖かい場所で思う存分わかさぎ釣りを楽しめます。

### ○しのつ公園



しのつ公園にある「しのつ公園キャンプ場」では、整備のいきとどいた環境で、存分にアウトドアを楽しむことができます。中でも人気のキャンププランは、「手ぶらでキャンプ」です。これは、その名のとおり、キャンプ用具一式を全てレンタルでき、パークゴルフ場や温泉も利用できます。元々、しのつ公園キャンプ場は初心者向けのキャンプ場ですが、この「手ぶらでキャンプ」は、初めてキャンプをしたいという方にぴったりのプランとなっています。

さらに、昨年7月より始まり、大好評をいただいているプランの「グランピング」があります。これは、ベッドやソファ、冷蔵庫、電気ケトルなどが備え付けられたテントで贅沢なキャンプを楽しめるプランです。夕食には、豪華なバーベキュー料理や季節のお鍋など、こだわりの食材を楽しむことができます。

また、冬には暖房設備を完備し、快適に過ごせるようになっていて、冬でもキャンプをやりたいという方でも楽しめるプランとなっています。

### ■ふるさと納税

1万円以上の寄附で貰えるお礼の品には、新しのつ産田楽福米（たらふくまい）5kg×2種（ななつぼし、ゆめぴりか）や、新しのつ産玉ねぎ10kg、とうもろこし「プレミアムホワイト」7本、

炎の華白菜キムチ・大根キムチセット、地酒「大法螺」2本セット、有機小麦粉「はるきらり」5kg、こめサイダー20本、黒豆「黒千石大豆」2kgなどがあります。

さらに、2万円以上の寄附で貰える品には、新しのつ産特別栽培米「5kg×2」を2ヶ月連続お届けや、新しのつ産メロンギフト、などがあります。

また、3万円以上の寄附で貰える品には、オーガニックパンセット3ヶ月連続お届けなどがあります。

さらに、5万円以上、10万円以上の寄附で貰えるお礼の品には、たっぷの湯・ニューしのつゴルフ場ギフト券がそれぞれ40枚、80枚があります。

ここで紹介したもの以外にもたくさんの魅力あるお礼の品がありますので、是非お問い合わせください。

問い合わせ先

北海道新篠津村 総務課

(TEL：0126-57-2111)



しんしのつのおこめちゃん  
(新篠津村PRキャラクター)

## ～シリーズ～ 「私のいちおし」

株式会社 関電工

北海道支店長 太刀川 雅弘



店の外観

薪ストーブ

古いスキー

北海道の食といえば新鮮な魚介類が代名詞のようなものですね、おいしい「寿司」を出すお店は皆様もよくごぞんじかと思いますが、今回は値段もリーズナブルでカジュアルながら本格的なイタリアンが食べられる店を紹介いたします。

物に対するこだわりがめっほう強い店主の帆足さんが経営するこの「BAMBINO」バンビーノは一見イタリアンレストランには見えない店構えで、駐車場の奥のガレージには怪しげな車やバイクがところ狭しと置いてありますが、それは無視して階段を上がり2階のレストランに入ります。



鳥レバーのパスタ

グリーンサラダ

店の中央には薪ストーブが鎮座しており、冬には薪のおいでのする心温まる空間を演出します。本棚には古い車やバイク、スキー、登山の雑誌が置いてあり、小さな音で流れる品の良いジャズ、ボサノバ、女性ボーカルがおいしい料理に花を添えます。このように物に対するこだわりが大変強い店主の帆足さんですから料理もこだわりが強いのは当然で、モットーは「自家製」です。たとえばこのグリーンサラダ。市販のドレッシングは使いません。ハーブオイルとフランボワーズビネガーを基本に塩とこしょう、本場のイタリアではサラダはこれが定番です。おいしいですよ。市販

のドレッシングの方が安いそうですが、塩が強すぎてダメだそうです。あとは燻製のスモーカーで作る自家製ハム・ソーセージや自家製ケーキ。そしてパルメザンチーズを手動のチーズカッターでふりかけるという凝りよう。ランチタイムにはパスタを10種類の中から選べます。どれもおすすめですがこのお店で有名な鳥レバーは細かく碎かれた白レバーを十分に炒め黒胡椒が利いていてコクの深い味を楽しませてくれます。ジェノベーゼはバジルの香りが濃厚です。ボロニエーゼは荒目の挽肉で、ほんのり塩の利いたパスタと相性抜群です。あとは自家製のケーキは甘さ控えめ、珈琲はブラックで飲むのがお勧めです。パスタランチはこれで970円とお得です。



ジェノベーゼとチーズカッター ポロニエーゼ 豚ロースのグリル

このお店は本格パスタが手軽に楽しめます。是非食べてみてください。あ、それと言い忘れました。さっき無視した1Fにある車は1968年製アルファロメオジュリア1300Ti、バイクは古いドゥカティ900SS。ちなみに玄関先で見つけた70年代のスキーについていたビンディングはサロモンの選手用に提供していた限定品でした。またレストランで使っているスピーカーはJBL4312。料理の味と同様に色々こだわっていますよ。



店主の帆足さん アルファ1300Ti ドゥカティ900SS

【店名】「Ristorante Bambino」リストランテ バンビーノ

【住所】札幌市中央区北6条西19丁目22番地

【電話】011-614-3377

【営業時間】11:30-23:00 (LO 22:00) 水曜  
定休

[Lunch/月～金] 11:30-14:00

P6台

## 安全衛生パトロール実施報告



平成30年6月26日(火)技術安全委員会委員4名、  
苫小牧電業協会6名、苫小牧市2名の合計12名による安全衛生パトロールを実施しました。

今回の現場は、錦戸・西川・山西 特定建設工事共同企業体による苫小牧市発注の(仮称)沼ノ端鉄北地区複合施設新築電気設備工事で、児童センター、集会室、市の出張所の機能を併せもつ施設です。

(苫小牧市北栄町3丁目3番1)



苫小牧電業協会の中村会長の挨拶に続いて、現場代理人の戸松 高博 氏〔株錦戸電気〕から工事概要、作業内容を聞いた後、工事現場に向かいました。



当日の主な作業はA工区照明器具取付・配線などでした。

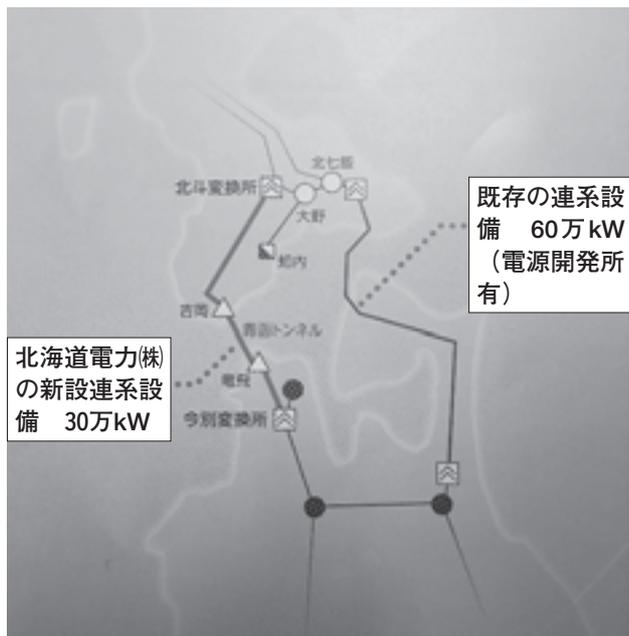
パトロールは現場事務所、A工区、B工区、C工区それぞれの一般事項、墜落防止、感電防止、衛生環境、防火管理などを点検して終了しました。

終了後、工事現場の会議室に移動して、点検表のチェック項目を整理し個別に各委員から、全般的に整理整頓はされているが、高所足場の梯子の支持が弱い、使用中の電工ドラムにアースなしのものが見受けられた等、建築関係も含めて改善が必要な点などの点検結果が発表されました。

最後に当協会の佐藤技術安全委員長から「これから、工事繁忙時期に加え8月中旬には受電予定なので危険ポイントが変わってくるため、作業員の安全管理をお願いしたい」と総評がありました。



# 電気設備施設見学会



電気設備施設見学会は、会員企業の技術向上と最新設備の見聞を深めるため、毎年実施しています。今年も平成30年6月14日(木)、15日(金)一社電気設備学会北海道支部共同で開催しました。

今回の見学場所は北海道電力(株)北斗変換所建設作業現場(北斗市中山37-22)、電源開発(株)函館変換所(亀田郡七飯町字峠下703)、函館市函館アリーナ(函館市湯川町1丁目32-2)の3施設です。

当日は参加者19名が札幌駅北口に8時45分までに集合し貸切バスで出発。途中、長万部のドライブインで昼食休憩を挟みながら初日の見学場所として建設工事進行中の北海道電力(株)北斗変換所に到着しました。

既存の函館変換所(北海道・本州間連系設備)は60万kWで運転中ですが、同施設は、設備の点検や将来の設備更新においても北海道の電力安定供給を実現するため、新たに北海道・本州間連系設備として30万kWを2019年3月運転開始を目指して現在建設しています。

## ■設備概要

○連系区間：北斗変換所(北海道側)～今別変換所(本州側)

○送電設備：回線数1回線 支持物～鉄塔269基  
【北海道側205基(77km)、本州側64基(21km)】  
・地中線：回線数1回線 ケーブル本線1条(24km) 帰線1条

○変電設備：自励式変換器 送電容量30万kW  
翌日、最初の見学場所は電源開発(株)函館変換所です。

## ・北海道電力(株)北斗変換所について

新たに北海道の電気の品質をより安定的に維持するため、日本初の自励式変換器による交直変換装置を採用した30万kWの連系設備を建設しています。(2014年4月着工、2019年3月運転開始予定)

## ・電源開発(株)函館変換所について

北海道と本州間は、津軽海峡に隔てられており長い間技術的、経済的に電力連系が困難でしたが、1979年に完成した日本初の本格直流送電設備となる北本連系設備により電力系統が連系され本州との電力融通が可能となっています。

東日本大震災発生直後には、電力不足に陥った東北や関東地域に北海道から60万kWの電気を送り続けました。既存の連系設備は、30万kW×2極(計60万kW)で構成されています。

同施設は我が国初の直流超高圧送電線を導入し1979年に北海道・本州間電力連系設備(北本連系設備)15万kWとして完成し、その後1980年に30万kW、1993年には60万kWに増強され現在に至っており、この連系により日本の電力設備は北海道から本州までひとつになりました。

## ■設備概要

○連系区間：函館変換所(北海道側)～上北変換所(本州側)

○送電設備：回線数2回線 支持物～鉄塔374基  
【北海道側80基(27km)、本州側294基(97km)】

・地中線：回線数2回線 ケーブル本線2条(43km) 帰線2条

○変電設備：他励式変換器 送電容量60万kW

続いての見学場所は函館市の函館アリーナです。この施設は最大収容人員5千人規模の多目的施設で大規模なスポーツ大会、コンベンション、コンサートなど多彩なシーンに対応できる「使いやすい」施設となっております。

(工事着工：2013年9月、完成：2015年7月)

見学途中、説明者に対する質問等が多数あり参加者のそれぞれの施設に対する関心の高さを感じる有意義な見学となりました。

お忙しい中、ご説明いただきました北海道電力(株)函館工事事務所の金木 明浩所長様、電源開発(株)北地域流通システムセンターの野阪 直人センター長様、函館市役所都市建設部建築課の小林 優希様他関係者の皆様、誠にありがとうございました。

# 厚生委員会行事報告

## 平成30年度 第2回・第3回ゴルフ部会コンペ成績



第2回優勝者の鈴木さん（左） 山口副会長（右）



第3回優勝者の矢田さん（左） 山口副会長（右）

### 第2回 ゴルフ大会 平成30年6月22日(金) 札幌南ゴルフクラブ 参加者28名

順位	氏名	会社名	イン	アウト	GROSS	HC	NET
優勝	鈴木 雅博	振興電気	46	48	94	25	69
準優勝	住本 邦裕	北海道タツワ電気	37	40	77	6	71
3位	石田 啓二	山口電気機械工務所	42	45	87	15	72
4位	木村 賢史	北海道タツワ電気	42	46	88	16	72
5位	斉藤 克人	きんでん	43	45	88	15	73
6位	戸塚 達夫	日比谷総合設備	40	44	84	9	75
7位	矢田 彰	北弘電社	41	45	86	10	76
8位	佐口 紀浩	日本電設工業	42	46	88	12	76
9位	三好 裕一	札幌機電工業所	44	46	90	14	76
10位	松井 良一	札幌日信電子	46	46	92	16	76

### (特別賞)

B	G	住本 邦裕	北海道タツワ電気
平	和	賞 中田 徹三	旭日電気工業
大	波	賞 田村 富生	北工電気
小	波	賞 滝澤 秀樹	滝沢電気設備
B	B	賞 水越 孝行	でんこう
ラッキー	賞	吉田 岳夫	北海電気工事
N	P	石田 啓二	山口電気機械工務所
N	P	木村 賢史	北海道タツワ電気
N	P	戸塚 達夫	日比谷総合設備
N	P	矢田 彰	北弘電社
N	P	佐口 紀浩	日本電設工業
N	P	富江 覚司	日比谷総合設備
N	P	小谷 修	末廣屋電機
N	P	吉田 岳夫	北海電気工事

### 第3回 ゴルフ大会 平成30年7月19日(木) 札幌エルムカントリークラブ 参加者29名

順位	氏名	会社名	イン	アウト	GROSS	HC	NET
優勝	矢田 彰	北弘電社	38	39	77	10	67
準優勝	暁 友祐	北札幌電設	43	46	89	22	67
3位	鈴木 雅博	振興電気	45	42	87	18	69
4位	渡辺 修	三新	48	46	94	24	70
5位	中鉢 征	三共電気工業	49	48	97	26	71
6位	佐藤 信悦	旭日電気工業	42	45	87	16	71
7位	三好 裕一	札幌機電工業所	44	42	86	14	72
8位	佐久間忠信	北明電気工業	42	40	82	8	74
9位	松原 一朗	北明電気工業	38	44	82	8	74
10位	加藤 定義	北盛電設	53	51	104	30	74

### (特別賞)

B	G	矢田 彰	北弘電社
平	和	賞 稲津 亘	北盛電設
大	波	賞 田口 朋宏	北海道ジーエス・ユアサ
小	波	賞 植村 賢	ユアテック
B	B	賞 川喜田邦夫	能美防災
ラッキー	賞	田口 朋宏	北海道ジーエス・ユアサ
N	P	矢田 彰	北弘電社
N	P	暁 友祐	北札幌電設
N	P	佐藤 信悦	旭日電気工業
N	P	松井 良一	札幌日信電子
N	P	松井 良一	札幌日信電子
N	P	木村 賢史	北海道タツワ電気
N	P	若林 秀博	札幌日信電子



## 最初で最後の？優勝

強い風が吹き、時折小雨もちらつく天気の中、6月20日(水)北海道電業協会ソフトボール大会が美香保公園野球場にて開催されました。

昨年の大会で北弘電社チームが前人未踏の10連覇を達成し、今回更に記録を伸ばせるのか?!というところに注目が集まりました。

我々JVチームは、異なる会社の方で構成するいわゆる「寄せ集め」チーム、どうにかこうにか9人を揃え大会に挑みました。

1回戦では打線が面白いように繋がって序盤から大量リード。これはイケるぞ!とチーム全体に漂っていた楽勝ムードが一転、最終回に相手チームの猛攻に遭い、一打サヨナラ負けの大ピンチ!この状況を辛うじて同点で食い止め、同点決着ルール【ジャンケン】でなんとか1回戦を突破。トーナメントのくじ運にも恵まれてそのまま決勝戦へ進む事となりました。

決勝の対戦相手は絶対王者!北弘電社チームになるな、と覚悟していましたが何と準決勝で敗退するという大波乱!「これはもしかしたら優勝のチャンスがあるかも・・・?」と少しだけ期待が膨らみます。

そして迎えた決勝戦。気合いを入れて、いざ試合へ。1回戦とは違うメンバーで臨んだ試合は一進一退の攻防で1点を争う好ゲーム。ジリジリと追い上げられる苦しい展開でしたが、急造チームとは思えないチームワークを最大限発揮して、序盤のリードを最後まで守りきり、見事(?)初優勝を飾りました。

くじとジャンケンの運も味方に付けたタナボタ優勝ではありますが、違う会社の方と想いをひとつに戦った事が、今回優勝出来た大きな要因だったのではないのでしょうか。また、大会を通じて大きなケガもなく、普段の仕事とは違う交流を深められる大変良い機会になりました。

当日参加された選手の皆さま、応援に来てくださった皆さま、そして、毎年楽しい大会を開催してくださる北海道電業協会の皆さま、本当にありがとうございました。

拓北電業(株) 若宮 昇平 記



優勝 JVチーム



## 平成30年度 第1回・第2回ボウリング部会報告



平成30年度第1回ボウリング部会は6月29日(金)スガイディノスノルベサにて開催されました。

見事優勝したのは日本電設工業(株)大沼さん!

そして準優勝には拓北電業(株)尾崎さん!

大沼さんは久しぶりの参加でありながら1ゲーム目に209のハイスコアを記録し、ぶっちぎりの優勝でした。



第1回優勝の大沼さん(右) 藤井部会長(左)

第2回ボウリング部会は8月17日(金)に同じくノルベサにて開催されました。参加者にはお盆休暇明けと言う方が多く、中にはまだ休暇中にも関わらず駆けつけて下さった方もいらっしゃいました。

そんな中、優勝したのは拓北電業(株)若宮さん! 準優勝は同じく拓北電業(株)金沢さん!

若宮さんは我がボウリング部会で上位入賞の常連であります。準優勝の金沢さんと並んで拓北電業(株)さんのワン・ツー・フィニッシュとなりました。

ボウリングで汗をかいた後は、お馴染みの「北海しゃぶしゃぶ」さんで表彰式を兼ねた懇親会。

毎度の事ながら仕事上の情報交換や何気ない雑談まで、様々なトークで会場は大いに盛り上がりました。

表彰式では皆さんの歓声で会場が熱気に包まれ、プレゼンターの私も汗だくで発表しました。

我々部会幹事一同は、参加して下さいた皆様に出来る限り楽しんで頂きたい一心で運営しております。いつも参加して下さいる方々は勿論、「久しぶりに遊びに来たよ!」と復帰される方もいまして嬉しい限りです。



第2回優勝の若宮さん(右) 藤井部会長(左)

今年度最後になる第3回ボウリング部会は10月19日(金)に開催致します。適度な運動と美味しいしゃぶしゃぶ、そしてお酒をかわしながら楽しい時間を過ごしませんか! お待ちしております。

ボウリング部会長 藤井 大樹 (株でんこう)

平成30年度

第1回 北海道電業協会ボウリング大会順位表

開催日：平成30年6月29日(金)

順位	氏名	1G	2G	ハンデ	合計	会社名
優勝	大沼辰	209	157	14	394	日本電設工業
準	尾崎健太	123	147	30	330	拓北電業
1	新名久弥	127	140	30	327	ドウデン
2	嶋田幸規	123	159	11	304	北弘電社
3	藤井大樹	137	121	23	304	でんこう
4	嶋津博	124	120	30	304	島津電設
5	十日市樹	132	153	9	303	北弘電社
6	三好裕一	141	147	5	298	札幌機電工業所
7	小林勇治	117	149	13	292	三共電気工業
8	畑千寿代	124	110	28	290	北盛電設
9	大塚公仁子	82	102	40	264	拓北電業
10	若宮昇平	119	143	0	262	拓北電業
ハイゲーム賞				大沼辰		日本電設工業
大波賞				小林勇治		三共電気工業
小波賞				三好裕一		札幌機電工業所
ブービー賞				福田哲也		大成電気
ブービーメーカー賞				片山誠陽		日本電設工業

平成30年度

第2回 北海道電業協会ボウリング大会順位表

開催日：平成30年8月17日(金)

順位	氏名	1G	2G	ハンデ	合計	会社名
優勝	若宮昇平	171	155	2	330	拓北電業
準	金沢正樹	162	115	24	325	拓北電業
1	稲津亘	145	172	0	317	北盛電設
2	尾崎健太	110	177	13	313	拓北電業
3	福田哲也	112	139	24	299	大成電気
4	嶋津博	127	108	30	295	島津電設
5	十日市樹	147	127	10	294	北弘電社
6	鈴木周平	130	100	30	290	北電力設備工事
7	藤井大樹	133	122	17	289	でんこう
8	鈴木雅博	154	130	1	286	振興電気
9	森崎享一	154	125	3	285	北盛電設
10	吉岡秀雄	125	124	17	283	弘和電気
ハイゲーム賞				尾崎健太		拓北電業
大波賞				菅井末行		協信電気工業
小波賞				嶋田幸規		北弘電社
ブービー賞				細野隆平		橋本電気工事
ブービーメーカー賞				猪股栄太		末廣屋電機

(一社)北海道電業協会ホームページが新しくなりました！

北海道電業協会 検索



当協会からのお知らせ

※更新内容が未反映の場合はブラウザの再読み込みをお試しください。  
 (再読み込み方法の詳細については「お問い合わせ」をご覧ください)

- 2018年8月1日 「役員一覧」「会員一覧」「公開情報」「協会行事」「事業内容」を更新しました。
- 2018年8月1日 「学校関係者の皆様へ」にインターンシップ実施企業を掲載しました。
- 2018年8月1日 「会報誌 巻物182」を掲載しました。

※PDFファイルによるお知らせ

- 2018年06月08日 「安全衛生経費」に関する研修会(実施元：(株)建設産業振興センター)のご案内
- 2018年06月05日 2級電気工事施工管理技術検定試験のお知らせ

# 理事会・委員会報告

## || 理 事 会

◇平成30年 8月30日(木) 12:00~13:30

### 第3回議題

#### 【協議事項】

1. 平成30年度 経営者懇談会・セミナーの開催要領(案)について
2. 平成30年度「公共建築の日」記念イベントの対応について
3. 平成30年度 官公庁との意見交換会時の要望事項について
4. 電設協「働き方改革に向けた基本方針」について
5. 電設協 平成30年7月豪雨に伴う義援金に係る対応について  
以上提案どおり承認された。

#### 【報告事項】

1. 平成30年度北海道開発局幹部と建専連との意見交換会の結果
2. 高濃度PCB使用安定器の掘り起こし調査に係る協力依頼
3. 北海道開発局事業振興部との意見交換会の結果
4. 平成30年度 電気設備施設見学会の開催結果
5. 技術系学校の先生との意見交換会の開催結果
6. 技術系学校の学生の施設見学会の実施結果
7. 平成30年度 札幌市災害時協力協定連絡会議の開催結果  
(以下省略)

以上、概要を報告(宇野専務理事)

## || 三 役 会

◇平成30年 7月10日(火) 12:00~13:30

### 第4回議題

1. 平成31年度 任期満了に伴う役員改選に向けた取り組み(案)について

2. 「第2回電気工事技能競技北海道大会」プログラムへの広告掲載について
3. 安全パトロールの実施結果について
4. 建設業社会保険推進・処遇改善北海道地方連絡協議会及びWGの開催
5. 第37回北海道電気安全大会の開催について
6. 平成30年度 札幌市災害時協力協定連絡会議の開催について
7. 本・支部事務連絡会議の開催について
8. 平成30年7~8月行事予定について  
(以下省略)

◇平成30年 8月7日(火) 12:00~13:30

### 第5回議題

1. 平成31年度 任期満了に伴う役員改選に向けた取り組み(案)について
2. 平成30年度 経営者懇談会・セミナーの開催要領(案)について
3. 電設協 平成30年7月豪雨に伴う義援金に係る対応について
4. 電設協 後藤会長と北海道支部との意見交換会について
5. 建専連北海道開発局幹部との意見交換会について
6. 北海道開発局事業振興部との意見交換会について(報告)
7. 建設業社会保険推進・処遇改善北海道地方連絡協議会及びWGの開催結果について
8. 平成30年度「札幌市電気設備施工研修会」の開催結果について
9. 技術系学校学生との施設見学会について  
(以下省略)

◇平成30年9月11日(火) 12:00~13:30

### 第6回議題

1. 電設協 後藤会長と北海道支部との意見交換会(案)について
2. 電気設備学会北海道支部設立20周年記念行事への対応について
3. 平成30年度工事追込期における建設産業交通事故防止総ぐるみ運動の実施及び第39回建設産業交通安全全道大会の開催について
4. 経営者懇談会時の「協会事業のあり方検討会」中間報告(案)について
5. 平成30年9~10月行事予定について

## 総務委員会

◇平成30年9月5日(水) 12:00~13:00

### 第2回議題

1. 平成30年度 電気・空衛連絡協議会活動に係る関係官庁との調整状況について
2. 平成30年度 経営者懇談会の開催要領について
3. 平成30年度 「建設産業ふれあい展」の企画・運営について
4. CPD及びキャリアアップシステム説明会の開催結果について
5. 平成30年度 技術系学校の先生との意見交換会の実施結果について
6. 技術系学校の学生の工事現場見学会の実施結果について
7. 電設協インターンシップ推進助成金制度について
8. その他意見交換

## 経営委員会

◇平成30年7月12日(木) 14:00~15:00

### 第2回議題

1. 第1回議事録(案)承認について
2. 電設協 第279回政策委員会の開催概要について
3. 平成29年度 分離発注要請活動結果について
4. 北海道開発局及び札幌開発建設部との意見交

換会について

5. 平成30年度 経営者セミナー開催について
6. 平成30年度 建設産業ふれあい展について
7. 連絡事項、その他意見交換

◇平成30年9月13日(木) 12:00~13:00

### 第3回議題

1. 第2回議事録(案)承認について
2. 電設協 第280回政策委員会の開催概要について
3. 平成30年度 経営者セミナー開催概要について
4. 北海道開発局及び札幌開発建設部との意見交換会について
5. 平成30年度「建設産業ふれあい展」について
6. 平成30年度分離発注要請活動について
7. 連絡事項、その他意見交換

## 広報委員会

◇平成30年9月18日(火) 15:00~17:00

### 第2回議題

1. 会報「冬号」の編集方針(案)について
2. 会報「秋号」の校正について
3. 新春特集について
4. その他意見交換

## 事務局日誌

7月4日(水)・北海道赤レンガ建築賞委員会  
(かでの2・7) 宇野専務  
5日(木)・建専連と北海道開発局幹部との意見  
交換会(札幌第一ホテル) 宇野専務  
6日(金)・本部第279回政策委員会  
~7日(土) (東京) 笠島経営副委員長  
10日(火)・第4回 三役会議  
12日(木)・第2回 経営委員会  
・北海道開発局との意見交換会  
(北2条クラブ)  
13日(金)・登録基幹技能者認定講習会担当会議  
(東京) 類家事務局長  
17日(火)・ゴルフ部会  
・社会保険推進連絡協議会  
(合同庁舎) 宇野専務  
18日(水)・札幌市電気設備施工研修会  
(北海道電気会館) 類家事務局長  
19日(木)・本部常任理事会  
・本部第351回運営委員会  
(東京) 吉本支部長  
・第3回ゴルフコンペ(札幌エルム)  
・記念誌編纂委員会反省会  
26日(木)・北海道電気安全大会  
(共済ビル) 宇野専務  
27日(金)・CPD制度説明会(北海道電気会館)  
・建設業キャリアアップ説明会  
(北海道電気会館)  
31日(火)・技術系学校学生の施設見学会  
(伊達PS)  
8月1日(水)・建設業構造推進懇談会  
(道庁別館) 宇野専務  
2日(木)・本部・支部事務連絡会議  
(東京) 宇野事務局長  
・社会保険地方連絡会議  
(合同庁舎) 鈴木副会長  
3日(金)・札幌市災害協定連絡会議  
(札幌市役所) 類家事務局長  
5日(日)・北海道150年記念式典

(道立総合体育センター) 吉本会長  
7日(火)・第5回三役会議  
8日(水)・技術系学校の先生との懇談会  
(札幌グランドホテル)  
17日(金)・第2回ボウリング部会(ノルベサ)  
24日(金)・第2回歌唱部会 (ネオン)  
30日(木)・第3回理事会・常議員会  
9月3日(月)・本部第352回運営委員会  
(東京) 吉本支部長  
5日(水)・第2回総務委員会  
11日(火)・第6回 三役会議  
・本部第280回政策委員会  
(東京) 笠島経営副委員長  
13日(木)・第3回経営委員会  
14日(金)・本部第353回運営委員会  
・本部常任理事会(東京) 吉本支部長  
18日(火)・第2回広報委員会  
28日(金)・北海道の建築工事に係る合同研修会  
(北海道電気会館)

このたびの平成30年北海道胆振東部地震により、亡くなられた方々のご冥福をお祈りしますとともに、被災された会員の皆様、地域の皆様、関係者の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

一日も早い復旧、復興をお祈り申し上げます。

(一社)北海道電業協会、日本電設工業協会北海道支部は、今回の地震発生に伴う会員の被災状況について、両協会の会員(85会員)を対象として緊急調査を実施しました。  
調査結果は、次のとおりです。

#### 会員の被災状況

	被災した会員数	被災の主な内容
建物・設備の被害	7会員	社屋外壁の一部損傷、天井材の一部はがれ、シャッター不具合、下水配管やボイラーの不具合、FAX、プリンターの故障 (※建物の損壊など重大な災害の報告はありませんでした)
人的被災	家族：1会員1名	職員家族の軽症〔腰のけが〕 (※職員及びその家族に重傷の被災者の報告はありませんでした)

※なお、北海道電業協会会員の道外勤務者社員の父親(厚真町在住)が被災により他界されました。  
ここに慎んでご冥福をお祈りします。

### 編集後記

まずは、今回の胆振東部地震の被害者の方々に心からお見舞いを申し上げます。会員の皆様の身の回りでも、大きな被害を受けた方がいらっしゃるのか？また、長時間の停電の対応、あるいは施設の電気の緊急復旧などの対応に苦労されていないのか？心配しております。この広報誌は殆どの作業が地震前のため、地震及び長期停電による協会の活動への影響などには触れることができませんでした。その点は編集のスケジュールということでお許しください。

さて、本号は、北海道建設部建築局長の椿谷 敏雄様から「道有施設の整備における建築局の取り組み」について、巻頭言を頂戴しました。被災についてのお見舞いと共に、「確かな建築技術とストックマネジメントにより、地域とともに歩み続ける公共建築物を目指して～北海道150年から次世代への継承～」を基本理念とした、建築局の取り組みが伝わってまいりました。また、電力の確保と会員による災害緊急対応の重要性についても触れられ、協会の活動について示唆いただきました。震災後の大変お忙しい中、ありがとうございました。

実りの秋になります。地震に負けず、健康に留意されての皆様のご活躍をお祈りしています。

広報委員長 萩本 哲夫



発行 平成30年10月  
一般社団法人 北海道電業協会  
札幌市中央区北1条東3丁目1-1  
北電興業ビル4階  
TEL (011)271-2932  
FAX (011)271-2952  
E-Mail:dodengkyo@estate.ocn.ne.jp  
<http://www.dodengyo.jp/>